

平成30年度 第2回 長野市立博物館協議会 議事録

日 時 平成30年12月6日(木) 午後2時00分～午後3時30分

場 所 長野市立博物館 1階 教室

出席委員 立岩会長・宮下副会長・相澤委員・東福寺委員・石坂委員・三井委員

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項（議長 立岩会長）

（1）平成30年度の主な事業報告（各事業担当職員）

（立岩会長）「何か質問は。」

（宮下副会長）「戸隠地質化石博物館に行った。『めざせ戸隠山』を見たが、小さいながらすばらしい展示だった。戸隠について総合的にみている。図録はないのか。」

（田辺補佐）「ない。」

（宮下副会長）「せっかくいい展示なので、図録で残すとよい。せっかくのものが消えてしまう。図録でしか残らないため、残してほしい。3,000人が来る理由が分かった。よい展示だった。」

（2）平成31年度の主な事業計画（各館代表職員）

（相澤委員）「先ほどのことも含めてすばらしいと思ったのは、新町の美術館と化石館などが恐竜をテーマにして相乗効果を生み出したということ。連携は大切だと思った。先の協議会で5年間の事業計画、中期目標を出していただき、そこに連携についてあったが、市の中の連携の他、北信の博物館との連携はあるか。」

（原田係長）「例えば、来年の特別展では北信地域の博物館と連携を予定している。飯山や千曲などの学芸員と話をした。見えないかもしれないが連携をしていく。ソフト面で進歩があると思う。」

（相澤委員）「市民にしてみると、他の所についてわからないので、市民向けに情報を砕いて出してもらえるといい。」

（立岩会長）「他の方はないか。」

（石坂委員）「ディプロドクスの色塗りを公募するとあるが、恐竜の色を公募するのか。」

（畠山係長）「塗り絵のような形で応募してもらい、色を塗って、戸隠や新町で展示する予定。国立科学博物館の真鍋さんなどに選考委員になってもらい、復元として

もいいね、というものを選びたい。」

(立岩会長)「色は決まっていないのか。」

(畠山係長)「最近断片的にわかってきたものもあるが、大半のもの、ディプロドクスのような大型のものはほとんどわかっていない。とはいえ、保護色である、などそれなりに意味のある色をしていると思うので、それも加味して選びたい。」

(立岩会長)「茶臼山のものも想像なのか。」

(田辺補佐)「証拠は何もないので。ゾウなどを参考にしているが、最近トカゲのようなものもある。今回の公募は、長野市の博物館として位置付けたいということでやる企画。」

(千野館長)「この企画は、県の合併特例債をあてにしている話であり、予算の内示もまだなので、実際にやれるかはわからない。」

(宮下副会長)「来年は理科に焦点をあてるということで、よいと思う。新町の高木さんに焦点をあてる企画など、地域のを掘り起こす努力をしてもらうと、来館者増につながってよいと思う。」

(東福寺委員)「夏は子どもが一番来たいと思う時期だから、本館と分館が連携して、各所を訪ねられる企画はよいと思う。」

(三井委員)「ここ(本館)と戸隠、新町が連携して特徴を生かしてもらえるとよいと思う。皆さんの企画には意図、思いがあると思うので、それを伝えていただく機会があるといい。」

(立岩会長)「今あった『思い』については、どうか。」

(田辺補佐)「今年もやった市民新聞への掲載など含め、発信したい。」

(立岩会長)「市民の意見を取り入れることはあるか。」

(千野館長)「直接取り入れるわけではないが、その時々情勢を取り入れるようにはしている。石坂委員が以前言ったような、従来の博物館から逸脱するようなことも必要と思っている。」

(3) 川中島古戦場史跡公園・博物館のリニューアルについて(千野館長)

(相澤委員)「私も地元のまちづくり委員で、館長が今話した会に参加した。今年の7月までは都市整備部と地元で話をしていたが、博物館と公園も観光も一体になって考えないと駄目ではないかということで、8月10日に話を始めた。その時に樋口副市長は『市民が楽しむ空間にするのか。川中島の戦いは日本三大合戦の一つ。全国的に展開してやるべき。それにしても緊張感がない。風林火山の時の企画展は10万人。川中島の合戦を全面に出さないといけない。首塚の扱いが雑。敵に塩を送るという言葉も全国的に知られているのだから。』と言っていた。市としてそういうことなら、博物館の知的財産を利用していきたい。是非知恵を貸していただきたい。」

(4) 中条歴史民俗資料館の移転について (細井係長)

(宮下副会長)「こうやって古いものが新しく生まれ変わることはよいことで、中条の人も喜ぶのではないか。合併したが、中条村がどうやってここまで来たか振り返ることができる。まだ調査する時間があり、報告書を作れると思う。その報告書から抜き出す形で展示をすれば、重みが違う。あったものを展示したということではなく、胸を張って展示ができると思う。」

(立岩会長)「参考にしてほしい。」

(5) 豊野資料収蔵庫の整理について (細井係長)

質問なし

(6) 有島生馬記念館の登録文化財化について (成田係長)

質問なし

(7) その他

質問なし

4 閉会